

## 重要業績評価指標（KPI）

### 約7割の重要業績評価指標（KPI）で順調に推移

- 評価対象となる32事業の35のKPIのうち、約7割にあたる26のKPIで目標値を達成又は基準値に対し上昇
- 一方で、9のKPIで低下。令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光客をはじめとする人の動きの停滞（観光入込客数、ムスリム観光客宿泊者数、J R岡山駅乗降客数、図書館の年間貸出冊数）などによる実績の低下等が見られる。
- 新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受け、アフターコロナの社会経済活動が本格的に動き始める中、さらなる目標の達成に向け、今後さらに取組の深化が必要

### 【KPI評価一覧】

連携分野	◎	○	△	×	合計
I 圏域全体の経済成長のけん引	6	0	0	4	10
II 高次の都市機能の集積・強化	1	0	0	2	3
III 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	10	9	0	3	22
計	17	9	0	9	35

#### ■ 評価の基準

評価対象：事業を実施しているもの

評価対象となる35のKPIについて、下記の4区分で評価

「◎：目標値を達成」 「○：目標値に達していないものの、基準値に対し、上昇」

「△：目標値に達していないものの、基準値に対し、横ばい(変動率±0.5%の範囲内)」 「×：目標値に達しておらず、基準値に対し、低下」